

ロケツーリズム

～観光地マーケティング～

栃木県立足利清風高等学校

商業科3年 周東里咲 吉田明海 藤本航平

情報処理科3年 中越太喜

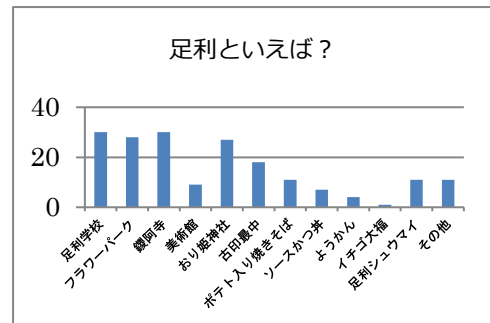
教諭 小瀧智美

I. はじめに

足利市には足利学校やばんな寺、織姫神社などの歴史的建造物やあしかがフラワーパークなどの観光名所があります。足利花火大会やココファームワイナリーの収穫祭は全国的にも有名で、県外からもたくさんの観光客が訪れます。この他にもたくさんの魅力がありますが、全国的には知名度が低いのが現状です。もっとたくさんの方に私達の住む足利市の魅力を知ってもらいたい。そこで調査研究を開始しました。

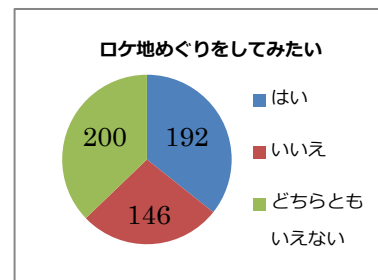
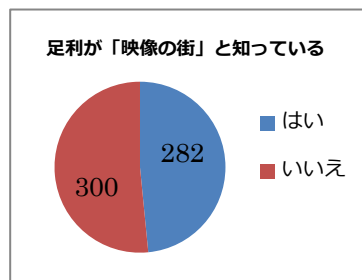
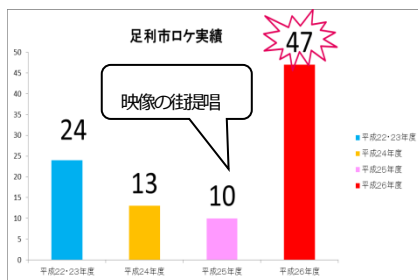
II. 調査研究

街でアンケートを実施しました。マーケティングが観光戦略のなかで大きなウエイトを占めることは常識的なことですが、日本のほとんどの地域であまり重要視されていませんでした。いくら拠り所となる地域資源がその地域にはお宝であり、個性を代表するものであっても観光客サイドからみたら数多くの選択肢に過ぎません。だから、**マーケティングを展開することで観光価値を高めることが必要**です。これまで地元の人々だけが関心を寄せていた、あるいは地元の人々にはあまりに日



常的だったため忘れ去られていたような**地域資源を観光資源**にすることが求められています。そこで私たちが着目したのが**ニューツーリズム「ロケツーリズム」**です。近年足利市では様々な映画やドラマのロケ地として多く使われるようになり、**平成25年に「映像の街」を提唱**していることを知り調べてみたところ、ロケ実績がぐんと伸びていることが分かりました。

市内県立高等学校5校、約600名を対象にアンケートを実施しました。市内高校生には「映像の街」の認知度は低く、ロケ地めぐりをしてみたいという回答は半数に満たない結果でした。



修学旅行で沖縄県を訪れた際に、那覇市観光コンベンションビューローを尋ねたところ、プロモーション媒体の主要認知ソースはガイドブックであることを知りました。

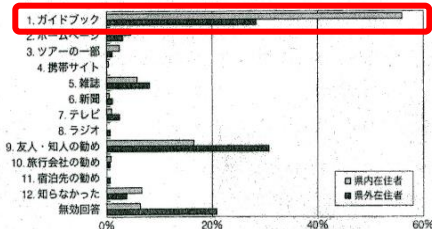


図1 認知ソース (出典:南城市(2010)の図を本書用に筆者改変)

III. 仮説と実践

仮説1 高校生ならではの発想で、観光名所や特産物を掲載した観光ガイドマップを作成することで、足利市の魅力を伝えることができ、地域貢献・活性化が出来るのではないかと。

仮説2 広報活動を通じて、足利市の魅力を広められ、来足のきっかけにつなげることができるのではないかと。

①ロケ地めぐり観光マップ 8回にわたる編集会議でマップの構成等の議論を繰り返しました。何度も校正を行い、業者さんのアドバイスや協力を得ながらより良いマップを作成したい一心で努力を重ねました。その結果出来上がったマップは10,000部発行しました。



②ロケ地めぐりツアー 完成したマップをもとに、ロケ地めぐりツアーを企画しました。旅行業法によりJTB関東両毛支店に協力していただきました。当日は足利市の地場産業でもある足利銘仙をまとい、お客様をおもてなしし、旧足利西高ではロケが行われた映画「ちはやふる」にちなんで小倉百人一首大会を催しました。



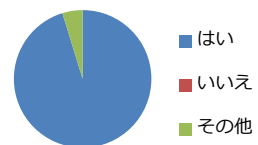
IV. 仮説の検証

(1) 足利市の魅力を伝えることができたか

もう一度足利を訪れてみたいですか?という問いに95%の人が「はい」と答えてくださり、マップについても高評価を得ることができました。あし恋MAPとロケ地めぐりツアーにより、足利市の魅力を伝えることが出来たと判断できました。

仮説は立証!

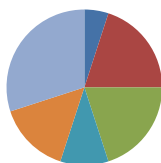
もう一度足利に行きたいか?



(2) 足利市の魅力を広められたか

学校のHPに掲載し活動のPRをしました。また、私達高校生の活動を応援して下さるたくさんの方々の協力で、新聞・テレビなど数々のメディアに登場することになり、広報活動をより幅広く行うことができました。大盛況となったツアーやマップの問い合わせが多い要因は、高校生の活動ということに興味を持っていただくことができ、新聞やテレビといった情報発信ツールがたくさんあったからだと考えました。

当ツアーを知ったきっかけ



「またツアーを企画してほしい」「また来たい」「映画(ちはやふる)が見たくなった」などの感想や、一連の活動を放送されたNHKの番組を見た多くの方から励ましや応援の声をかけていただき、学校にも問い合わせが増えています。

仮説は立証!

V. まとめ

足利市の魅力を伝えるということは、改めて足利のことを知る必要がありました。改めて足利市を調べ研究することで、新たな知識を習得し、ますます地元足利市が好きになり、魅力を再発見することが出来ました。この研究活動は、何よりも足利市役所、足利市観光協会、地元企業の方のご協力がなければ行えなかったと思います。多大なるご指導とご協力に感謝申し上げます。